

市第13号議案 横浜市都心臨海部再生マスタープラン審議会条例の廃止について**1 趣旨**

横浜市都心臨海部再生マスタープラン審議会条例については、審議会から答申をいただき本市の計画として「横浜市都心臨海部再生マスタープラン」を策定したことで、所期の目的を達成したことから、廃止します。

2 審議会における検討経緯

平成26年 2月25日	条例制定
3月27日	第1回審議会（策定趣旨から基本戦略までを審議）
4月18日	視察会
4月25日	第2回審議会（主に施策について審議）
6月23日	第3回審議会（全体について審議）
8月5日～9月5日	市民意見募集実施
平成27年 1月30日	第4回審議会（答申(案)とりまとめ）
2月18日	審議会から答申
2月23日	プランの策定、公表

【参考】

横浜市都心臨海部再生マスタープランの概要

- 1 都心臨海部再生マスタープランの策定の趣旨
- 2 都心臨海部再生マスタープランの位置づけ
- 3 都心臨海部の重要性
- 4 都心臨海部の特性
- 5 都心臨海部強化に向けた考え方
 - ・2050年に向けたまちづくりの視点
 - ・都心臨海部の将来像
世界が注目し、横浜が目的地となる新しい都心
～都心臨海部を中心とした新しい横浜ライフの実現～
 - ・3つの基本戦略
戦略1：次の時代の横浜の活力をけん引するビジネス・産業づくり
戦略2：豊かな創造力・市民力が息づく横浜スタイルの暮らしづくり
戦略3：個性豊かなまちの魅力をつなぎ港と共に発展する都心づくり
 - ・5つの施策
施策①：世界中の人々を惹き付ける空間・拠点の形成
施策②：まちを楽しむ多彩な交通の充実
施策③：世界を先導するスマートな環境の創出
施策④：災害に強い都心臨海部の実現
施策⑤：都市活動の担い手が活躍する仕組み・体制の充実

委員名簿

(五十音順・敬称略)

氏名	現職等
新井 鷗子	東京藝術大学 非常勤講師、洗足学園音楽大学 客員教授
池邊 このみ	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
金子 修司	横浜商工会議所 都市政策委員会 委員長
齋藤 貢一	一般社団法人 横浜青年会議所 直前理事長
佐々木 葉	早稲田大学 創造理工学部社会環境工学科 教授
○ 佐土原 聡	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 教授
鈴木 伸治	横浜市立大学 国際総合科学部 教授
中村 文彦	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 研究院長
藤野 次雄	横浜市立大学 国際総合科学部 客員教授
◎ 森地 茂	政策研究大学院大学 教授
矢ヶ崎 紀子	東洋大学 国際地域学部国際観光学科 准教授
やました まさき 山下 真輝	株式会社ジェイティビー旅行事業本部観光戦略室 観光立国推進担当マネージャー
ゆあさ まなみ 湯浅 真奈美	ブリティッシュ・カウンシル アーツ部長

(◎：会長、○会長職務代理者)